

## 研究情報公開

受付番号	21-31
研究課題名	骨格筋量が MASA の改善に与える影響について
研究機関	医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院
研究実施者	地域在宅部門 言語聴覚士 久高健汰
研究の背景・目的・方法等	<p>[研究の目的]</p> <p>嚥下機能障害が疑われた脳卒中患者様に対する筋肉量が嚥下機能の改善に与える影響を調査します。</p> <p>[研究の方法]</p> <p>●対象となる方 当院に入院し嚥下障害が疑われた脳卒中患者様。</p> <p>●利用するカルテ情報 年齢、性別、身長、体重、Body Mass Index(BMI)、既往歴、診断名、受傷から入院までの日数、在院日数、MNA-SF、入退院時 SMI、入退院時 MASA、その他、研究を行うにあたり必要なデータの収集を行う。</p> <p>●カルテ情報の利用方法 上記のカルテ情報は、脳卒中患者様の嚥下機能へのリハビリテーションの効果进行分析する材料とします。</p> <p>[個人情報の取り扱い]</p> <p>利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、課題研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p>
研究期間	承認日～2027年1月末日